



「このソリューションを社内で活用することにより、インフラストラクチャーの急速な変革への対応と、IBM のエンドポイント・セキュリティーの強化、かつ、優れた ROI を実現することができます。」

—IBM チーフ・インフォメーション・セキュリティー・オフィス、シニア・テクニカル・スタッフ・メンバー、
David Merrill

IBM が Tivoli Endpoint Manager を社内に展開

IBM が自社のワークステーションおよびモバイル・セキュリティー・インフラストラクチャーを変革

今日のほかの企業と同様に、IBM は、自社のインフラストラクチャーおよび 42 万 5,000 人を超える社員を保護する必要があります。IBM が直面するセキュリティー上の脅威と攻撃の、量とその頻度は相変わらず増え続けており、引き続き、エンドポイント、インフラストラクチャー、およびデータを保護する上での課題を投げかけています。そして、他社がそうであるのと同様に、IBM も常にコスト削減と効率向上の手段を求めています。

IBM のビジネス・モデルの発展は、それと同時に、IBM のエンドポイントとインフラストラクチャー維持の課題を増やすことになりました。IBM の非標準エンドポイントの数は大幅に増えており、次のような状況により、今後ますます増える傾向にあります。

- 共同開発プロジェクトに向けた他企業との提携
- 買収と売却の加速
- 保護されていないインフラストラクチャー内での作業や、そうしたインフラストラクチャーから接続する作業員の比率の増加
- Windows 以外のコンピューティング・デバイスの増加

大きな成功を収めたパイロット導入

IBM は、BigFix テクノロジー上に基づく IBM Tivoli Endpoint Manager ソリューションのパイロット導入を行い、パッチ管理、セキュリティー構成、およびソフトウェア配布の課題に取り組みました。このパイロット導入では以下のような成果を上げています。

- 24 時間以内でパッチの配布が可能 —— 従来は通常 3 ~ 14 日
- 24 時間以内で 98% のコンプライアンス達成 —— 従来は 5 日以内で 92%
- パイロット導入の参加者の 35% が少なくとも 1 つは従来のパッチを適用していなかったことを確認



パイロット導入によって、コンプライアンス・モデルが変化しました。これまで個々のユーザーに依存していた問題修正でしたが、Tivoli Endpoint Manager によりエンドポイントやユーザーのタイプそれぞれに適確に対応した特定のアクションを実施。対象となる Windows 要件の 90% が自動的に修正されるようになりました。全体として、パイロット導入のグループでは IT およびセキュリティーの問題が大幅に減少し、IBM 社内でも最も良い状況になりました。

他社が行うのと同様に、IBM は Tivoli Endpoint Manager のパイロット導入を IBM のすべてのエンドポイントに拡大するビジネス上の価値を検討しました。そして、最初の 1 年で、ワークステーションのセキュリティーに関する問題を 50% 減らし、1,000 万ドルのコスト削減が可能であるものと見積もりました。

IBM 史上最速の社内展開

パイロットプログラム導入による大きな成功と、強力なコストの正当性に基づき、IBM は全世界で Tivoli Endpoint Manager を社内展開しました。この資料が公開されたとき、IBM は、Windows、Mac、および Linux を合わせて 750,000 あるエンドポイントのうち、550,000 を超えるエンドポイントに、半年もかからずに Tivoli Endpoint Manager をすでに展開済みで、2011 年末の完了を目指していました。これは IBM 史上最大最速の内部展開です。

IBM による展開は 3 つの地域、すなわち、北アメリカ、ヨーロッパ、およびアジア太平洋に分けて組織されています。各地域はそれぞれ物理的な 1 台の専用 Tivoli Endpoint Manager 管理サーバーによってサポートされているので、IBM 全体は合計 3 台の Tivoli Endpoint Manager 管理サーバーによってサポートされていることとなります。

IBM はすでに、Tivoli Endpoint Manager のさらに多くの機能を使用するために、展開の初期段階が終わった後の積極的な社内展開の計画を策定しています。これには、モバイル・エンドポイント管理機能が製品に追加された場合に備えてのモバイル・エンドポイントへの拡張が含まれています。

IBM Tivoli Endpoint Manager は、物理エンドポイントと仮想エンドポイントの両方に可視性を提供できる単一ソリューションに、エンドポイントのライフサイクルおよびセキュリティーの管理を組み込むことによって、あらゆる規模の組織がよりスマートで迅速なエンドポイント管理を行えるようになります。いくつもの複雑なネットワークにわたる時間のかかる作業を自動化することにより、組織はリスクを減らし、コンプライアンスを維持し、精度を高め、生産性を向上させながら、コストをコントロールできます。

詳細

IBM Tivoli Endpoint Manager の詳細については、IBM 営業担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、以下のサイトをご覧ください。

ibm.com/software/jp/tivoli/products/endpoint/



© Copyright IBM Corporation 2011

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-2

Produced in Japan
August 2011
All Rights Reserved

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、および Tivoli は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。これらおよび他の IBM 商標に、この情報の最初に現れる個所で商標表示 (® または ™) が付されている場合、これらの表示は、この情報が公開された時点で、米国において、IBM が所有する登録商標またはコモン・ロー上の商標であることを示しています。このような商標は、その他の国においても登録商標またはコモン・ロー上の商標である可能性があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtml の「Copyright and trademark information」をご参照ください。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

製品データは、最初の発表日においてその正確性について確認されています。製品データは予告なしに変更される場合があります。IBM の将来の方向性および指針に関するすべての記述は、予告なく変更または撤回される場合があります。これらは目標および目的を提示するものにすぎません。

本資料に記載されている情報は、明示もしくは黙示の保証責任を負うことなく、現存するままの状態を提供されます。IBM は、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を負わないものとします。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項 (例えば、IBM Customer Agreement、保証の内容と制限、プログラムのご使用条件) に基づき保証されます。

お客様は、自らの法的要件の順守を保証する責任を負うものとします。お客様のビジネスに影響する可能性のある関連法律および規制要件、ならびにお客様が当該法律を遵守するうえで必要となりうる処置の識別および解釈に関し、正当な資格を持つ法律顧問の助言を受けることは、お客様の単独責任となります。IBM は法的助言の提供はいたしません。また IBM のサービスあるいは製品によってお客様がいかなる法律にも確実に遵守することを明言または保証するものでもありません。



Please Recycle